

RITE より公表:

世界最高水準のエネルギー効率を堅持している日本鉄鋼業

RITE(公益財団法人地球環境産業技術研究機構)が9月25日に鉄鋼部門(転炉鋼)の「2010 時点のエネルギー原単位の推計」に関する調査レポートを公表し、事実上、日本鉄鋼業のエネルギー効率が世界最高水準であることが示されました。

<http://www.rite.or.jp/Japanese/lab0/sysken/systemken.html>

また、日本鉄鋼業のエネルギー効率が世界で最も高いという事実は、IEA(国際エネルギー機関)^{*}、World Steel Association(世界鉄鋼協会)等、国際的な機関でも共通の認識として受け入れられており、今回改めて、RITEの調査においても確認されたこととなります。

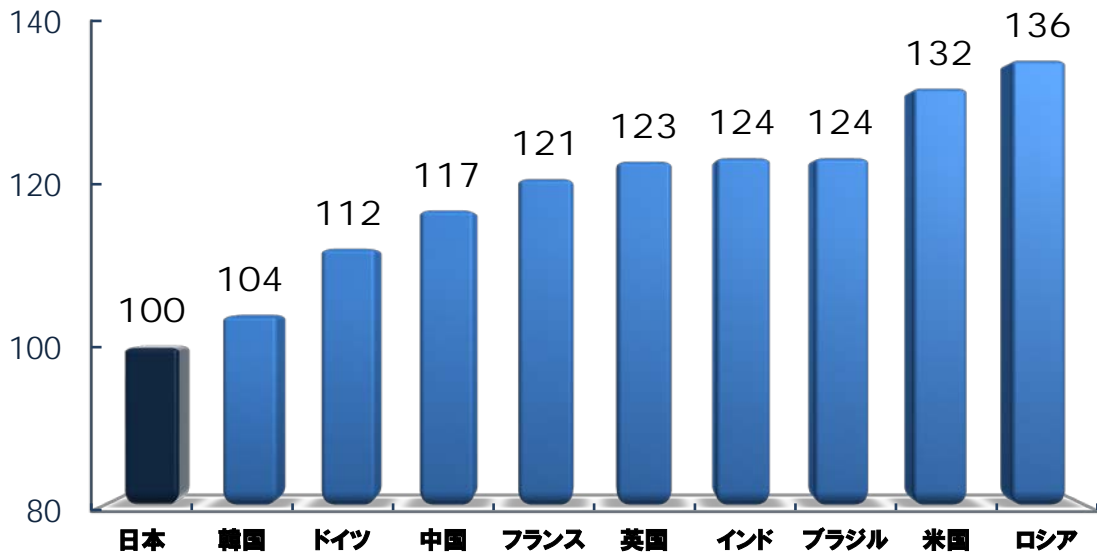
※IEA が2年に1回発行している『Energy Technology Perspective』の2012年版において、2009年時点のBATに基づく省エネポテンシャルが公表されており、日本の削減ポテンシャルが最も少ないことが示されています。

今回の調査結果を基に2010年時点の日本の転炉鋼のエネルギー原単位を100として世界各国と比較すると、日本に次いでエネルギー効率が良いのは韓国(104)、ドイツ(107)となっております。世界最大の鉄鋼生産国の中国(117)は、最新鋭の製鉄所が増え、エネルギー効率が改善されているものの、依然として日本に比べ2割近いエネルギー効率の差が存在することが改めて示されました(図1参照)。

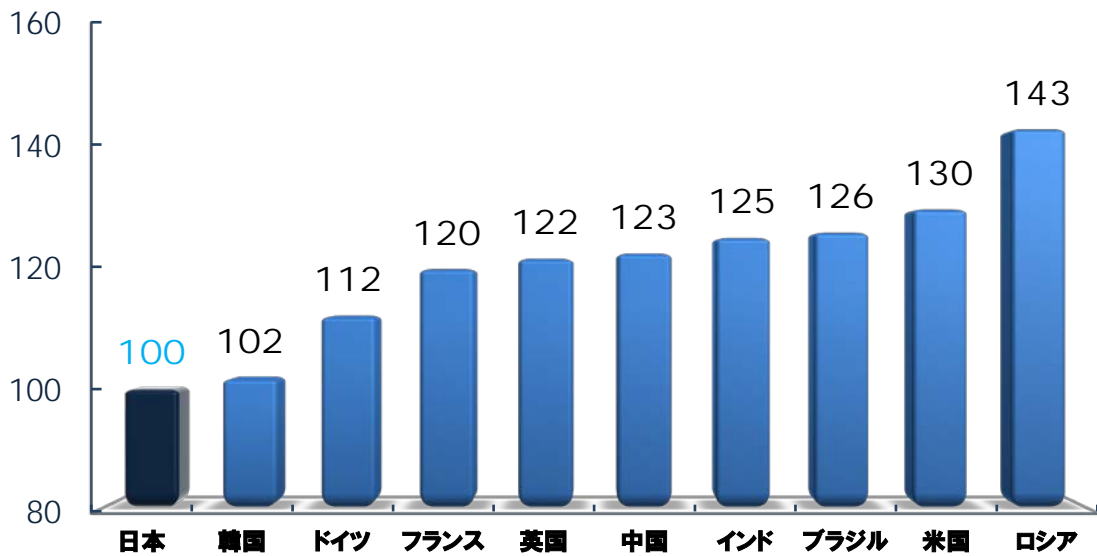
RITEは、2009年に2005年時点の転炉鋼のエネルギー原単位を公表しており(図2参照)、その際も日本のエネルギー効率は世界最高水準であることが示されておりました。エネルギー効率が世界最高水準にあるということは、省エネポテンシャルが最も少ないことを意味しており、RITEの調査結果は、日本鉄鋼業が不断の省エネ対策を進め、世界最高水準のエネルギー効率を維持してきたことの証といえます。

今後も世界最高水準のエネルギー効率をキープすべく、引続き日本鉄鋼業は可能な限りの省エネに努め、地球温暖化対策に真摯に取り組んで行く所存です。

《図1》鉄鋼部門(転炉鋼)のエネルギー効率国際比較【2010年】・日本=100



《図2》鉄鋼部門(転炉鋼)のエネルギー効率国際比較【2005年】・日本=100



本件に関するご連絡/お問合せ先:

一般社団法人日本鉄鋼連盟

総務本部 広報グループ TEL03-3669-4822